

Dear 笠岡の皆さんへ

あつた
せい
じろう

藪田 やぶた

せい
じろう

推薦メッセージ

和歌山県白浜町長 井瀨 誠 様

これからも人の心に寄り添い、温かい気持ちを持って何事にも真正面から取り組み、住民の声に耳を傾けられる政治家を目指してください。応援しています。私と出会ってくれてありがとう。

応援メッセージ 障がいの子を持つシングルマザー K.T 様

せいさんは純粋な人です。人の幸せ、動植物の幸せをただ純粋に思える人です。これからの時代をどんな人も尊重し合える世界を作れる人です。皆様もせいさんの純粋さに触れてみてください。

50年の想いを抱えていたご高齢者 Y.M 様

せいさんに私の人生を聞いてもらおうと想いました。なぜだか涙が止まりませんでした。自分の中の気持ちが少し楽になりました。

私の夢は、”故郷 笠岡に住むみんなが幸せになる”ことです。
教育(子・親のケア含む)、社会福祉、地域・文化振興、観光PR、若者が輝くことを！
以下に精一杯の想いをお手紙に届けました。一緒に夢を見てください。

Dear 大切な笠岡に暮らす皆さんへ

はじめまして、『せい』と申します。本名萩田誠二郎(やぶたせいじろう)と言います。私は詩人、書家(誠二郎)として、2002年から多くの人達の心と出会ってきました。私の夢は22歳から何も変わりません。「幸せな人が増えてほしいのです」。今なら「この故郷笠岡に住むみんなが、幸せでいてほしくてたまらないのです」。この想いを話すとき今も涙があふれます。そして神島外中学校時代から始まった『吃音(きつおん)』と『学校崩壊』が私の人生に大きな課題をくれたと想っています。

名前「せい(誠二郎)」、吃音など受け入れてもらえる笠岡に。

私は吃音(どもり)があり、今でも自己紹介や電話が苦手です。普段からも『せい(誠二郎)』としている理由は『詩人せい(誠二郎)』として活動してきたからです。理由は名字の「やぶた」が吃ってしまうからです。人には心があります。大切に自分を伝えさせてもらえるならきっと受け入れてもらえると思っています。そして、それは私だけではなく、それぞれに抱えているものも受け入れ合える笠岡になればと心から願っています。

十日で笠岡のみんなを幸せにする方法。

私の著書『二十一日で世界七十八億人に幸せを届ける方法』(静岡新聞社)の想いを伝えさせてください。笠岡の人口は43,552人(2023年12月)。あなたは自分を大切に、家族や大切な人たち、3人に幸せを届けると決心します。柄じのない、恥ずかしいかもしれません。では『もしも、これが最期だとしたら…』どう思うでしょうか。今の時代、震災のニュースを見ればそんなに遠くのことでないと思うのです。「今まで、ありがとうな」「ずっとすまなかったな」「愛しているよ」「仲良くしてくれてありがとう」と素直な気持ちを届けるのです。受け取った3人も同じように次の3人に幸せを届けます。1人から、3人、9人、27人…と一日ごとに届けていくと、六日目、神島外浦(729人)が幸せになります。七日目、神島全体へ。八日目、金浦また笠岡諸島の皆さんが。そしてわずか十日目、笠岡市みんなが幸せになります。笠岡から始まった幸せは、十七日目に日本中に広がり、二十一日目、遂には世界中が幸せになります。私は2002年一人で電卓を叩き、このことに気づきました。そこから私は筆を握り「一人ひとりに幸せを届けよう」「自分を大切にしたい」と22年間活動を続けてきました。

一緒に夢を見ませんか。人生に何か大切なものを残すのです。

私達の笠岡市は43,552人の小さな町です。本気になったらできないでしょうか。想像してください。どこに行ってもみんなが温かい眼差しをくれるのです。お店に買い物に行くだけで、小さな優しさや幸せがあふれているのです。あなたも誰かにそんな優しい眼差しを向けたいのです。そんな優しさにあふれた土台から、みんなが幸せになる街を創っていくのです。もし、本当にそんなことができるなら、希望を持っていないでしょうか。私は涙があふれてきます。本当にできると信じているからです。そんなに遠くない未来には、笠岡市みんなでお祝いできるなら本当に幸せです。夢は叶えるものですよね。そのために精一杯願晴(がんば)りたくて仕方ありません。想いを聴いてくれてありがとうございます。優しい世の中になればいいですよ。どうか自分を大切に、大切なひとを大切にしてください。あなたとあなたの大切な人たちが安心して毎日を生きられますように…

出会ってくれてありがとう せい
2024年1月23日私の誕生日に愛と希望をこめて



2002年初めて筆を握りヒッチハイクにて日本一周放浪の旅 博多にて



2021年御博イベント In和歌山県御坊市 竹あかりコラボイベント

2002年「幸せな人が増えてほしい」と、詩人せい(誠二郎)として活動してきました。これからは故郷笠岡のために、精一杯、輝いていたいと願っています。



文字は独字、変と優しさを追求しました。



せい代表作 頑張らないで、願晴(かんば)ろう。



ちょっと優しげ届けようプロジェクト 日本中90枚のメッセージが走りました。



初詩集出版記念講演 in 静岡センチュリーホテル



和歌山県八幡中学校。会場は大きな涙に包まれました。

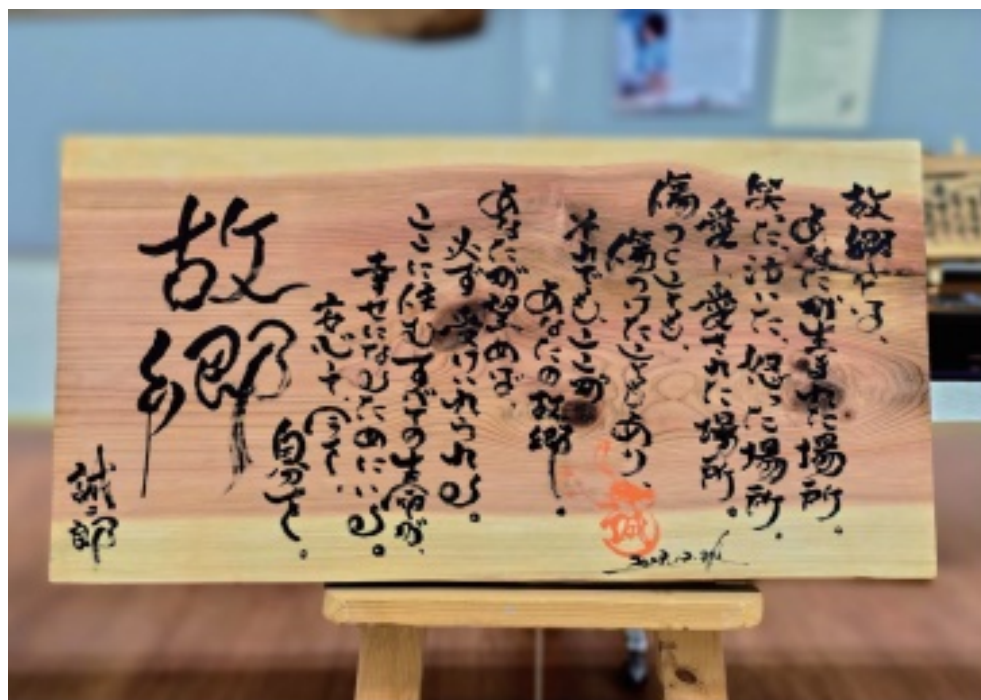
金浦ギャラリー 祖父母の家を自分の手で改装。なかなか素敵になりました。



自分の手でモダンビルドした龍神庵(和歌山県龍神村)



笠岡みんなの幸せを叶える夢。精一杯やってみます。



『故郷』
 故郷とは
 あなたが生まれた場所。
 笑った、泣いた、怒った場所。
 愛し、愛された場所。
 傷つくことも、傷つけたこともあり、
 それでも、ここがあなたの故郷。
 あなたが望めば、
 必ず受け入れられる。
 ここに住むすべての生命が、
 幸せになるためにここにいる。
 安心して今を、自分を。

2023.12.24 かさおかアート展にて
 即興創作した龍神詩『故郷』

『せい』プロフィール 詩人 書家 龍神詩創作者 本名 荻田 誠二郎 (やぶたせいじろう)

1977年1月23日福山市生まれ。小学6年より、父 荻田正男の実家、神島外浦にて育つ。
 神島外中学1年より吃音に悩み始める。笠岡高校卒。香川大学卒。22歳、友人の自死より人生を変えると決心し、香川大学大学院を辞めカバンひとつで海外一人旅に出る。2002年より、日本各地で一人ひとりに詩を届け始め、今まで6万人に届け続ける。2023年8月、地元笠岡市に帰郷。同年、9月、母京子(旧姓宮田)の実家を金浦ギャラリー開設。12月24日、かさおかアート展(地域福祉課・笠岡シーサイドモール)トークショー後、多くの方が優しい涙と想いを伝えてくれて、故郷笠岡のために力になると決心する。

<著書・CD> 『出会ってくれてありがとう』(静岡新聞社・現代書林)、『二十一日で世界七十八億人に幸せを届ける方法』(静岡新聞社・綜合法令出版)、その他、ペイフォワードブック、ペイフォワードソングCD等がある。

<メディア紹介・その他> 『スッキリ』(日本テレビ)、『とびっきりしずおか』(静岡朝日テレビ)、『ギュギュッと和歌山』(NHK和歌山)、その他新聞取材多数。その他、講演講師、ラジオパーソナリティとして活動、DIY・田舎暮らし体験(和歌山県龍神村時代)等。2016年度日本タレント名鑑文化人登録。芸能事務所Stylish所属。



<せいとともに夢を叶えませんか♪>

- ・ Web 入会申込ができるようになりました。 → → → →
- ・ ハガキ、電話で。070-8999-1239

せい公式 LINE 始めました♪ぜひ登録ください。

*ニュース動画、PV動画、心動ます愛の言葉も届きます。

活動報告は、Web・SNS等をご覧ください。



お問い合わせ せい後援会

神島事務所 〒714-0034 笠岡市神島外浦 1257

金浦事務所 〒714-0057 笠岡市金浦 1153-5

Tel: 070-8999-1239 Mail: seikouenkai@gmail.com

討議資料